

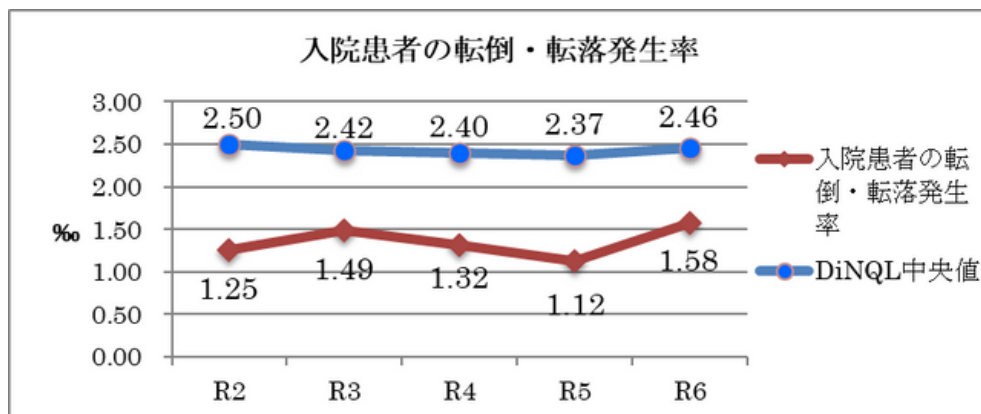
転倒・転落



超高齢時代に突入し、自宅に居ても入院していても高齢者の転倒や転落は発生しています。生活環境の変化は転倒・転落の要因でもあることから、当院では入院患者全員に対し、転倒・転落リスクアセスメントを実施し危険度を可視化（スコア化）して説明し、さらに転倒・転落予防DVDの視聴も実施しています。

当院は転倒・転落しそうになった事例や、転倒・転落したが患者の障害に至らなかった事例も含め全て報告するシステムとなっています。これらは転倒・転落の要因に対して病院の施設設備面の整備も含めて再発防止対策を講じ、大きな障害を被る危険性のある事故を未然に防止することを目的にしています。転倒・転落発生率やレベル2以上の負傷発生率のほか、転倒・転落リスクアセスメントの実施率・DVD視聴率等を追跡し、各部署や病院全体の予防的取り組みが効果的に実施されているかどうかの指標としています。

4. 入院患者の転倒・転落発生率：1.58%



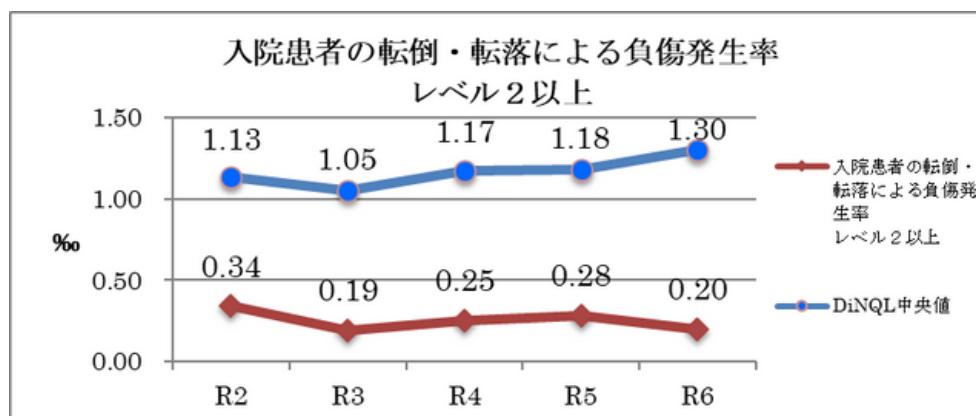
分子：病院の入院患者に発生した転倒・転落の件数

分母：病院の在院患者延べ人数

×1000 (%)

5. 入院患者の転倒・転落による負傷発生率

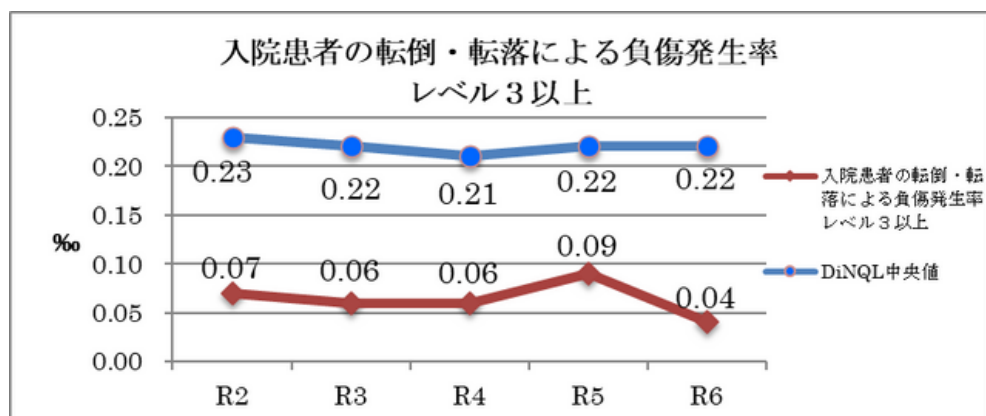
(1) レベル2以上：0.20‰



分子：病院の入院患者に発生した転倒及び転落により負傷した件数
(レベル2以上)

分母：病院の在院患者延べ人数
×1000 (‰)

(2) レベル3以上：0.04‰



分子：病院の入院患者に発生した転倒及び転落により負傷した件数
(レベル3以上)

分母：病院の在院患者延べ人数
×1000 (‰)